



# 株主通信 第43期

第3四半期 / 2021年4月1日～2021年12月31日

## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援とご高配を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第43期第3四半期の「株主通信」をお届けし、当期の状況についてご説明申し上げます。

2022年3月

取締役社長  
羽田 雅一



## 第3四半期の概要

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症やグローバルな供給制約等の影響が懸念されるものの、企業収益や業況感が全体として改善を続けているもとの、景気は持ち直しが明確化しています。

情報サービス産業におきましては、顧客のデジタル変革(DX)に対する投資意欲は底堅く、製造業の情報化投資は引き続き堅調に推移するものと見込まれておりますが、景気の下振れリスクが散見されるもとの顧客の情報化投資意欲の後退懸念は払拭し切れない状況にあります。

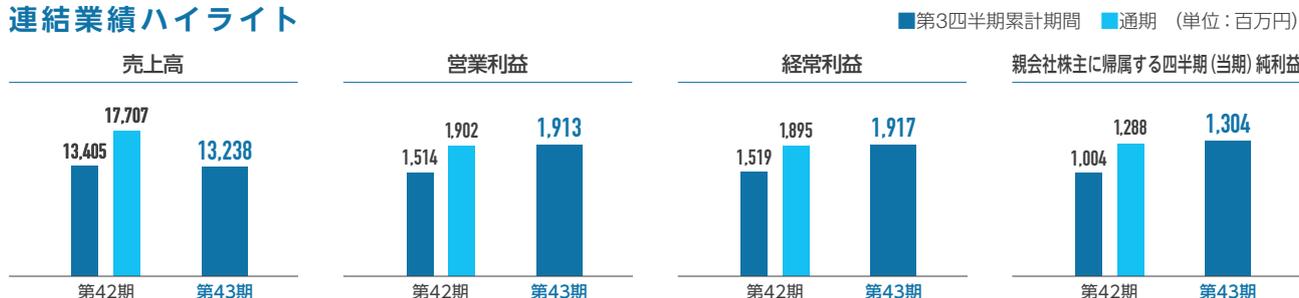
当社グループは、今年度から6カ年の経営計画「経営Vision 2026」のもと、主要顧客である製造業のビジネス環境の変化に、当社グループの強みを活かした製品・サービスで支援すべく、製造業のDX推進やグローバル展開等の経営課題解決に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績につきましては、受注高お

よび売上高につきましては、プロダクト事業は増加したもののソリューション事業が減少したことにより、前第3四半期に比し減少いたしました。受注高12,866百万円(前年同期比5.5%減)、売上高13,238百万円(前年同期比1.2%減)となりました。利益面につきましては、ソリューション事業において不採算案件が発生したものの、プロダクト事業のライセンス販売が大幅に伸長したことに加え、システムサポート事業の採算性が向上したことなどから、営業利益1,913百万円(前年同期比26.4%増)、経常利益1,917百万円(前年同期比26.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,304百万円(前年同期比29.9%増)となり、各々4期連続で過去最高益を更新いたしました。

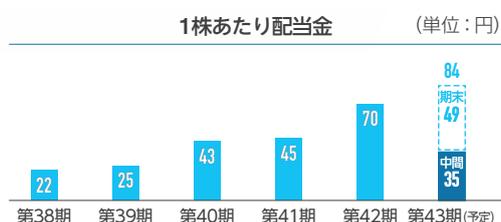
株主の皆様におかれましては、当社事業へのご理解とともに将来性にご期待いただき、引き続き長期的な視点でのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト



## 増配のご案内

第43期(2022年3月期)の期末配当金を配当予想の1株あたり35円から14円増配し、1株あたり49円とさせていただきます。これにより、第43期の年間配当金は前期比14円増配の1株あたり84円となり、7期連続増配、過去最高となる見込みです。



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、これに伴って前年同四半期累計期間及び前連結会計年度に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これら遡及適用後の過年度数値との比較・分析を行っております。

## 「人の動き」に着目した 仮想現実製品 mcframe MOTION



製造業を主たるお客様とする当社の製品とサービスは、その多くが生産・物流関連のモノやお金を管理するシステムですが、今回は当社にとってユニークな製品である「mcframe MOTION」(以下、MOTION)をご紹介します。MOTIONは、「人の動き」情報を活用したソリューションです。

我が国では近年、人口減少・少子高齢化などによる生産現場の労働力不足が問題となっており、そのなかで製造業各社は、後継者への熟練技術の継承や、作業者の労働環境改善、効率化に取り組まれています。

これらの課題を解決するために当社が開発したシステム製品シリーズがMOTIONであり、その1つが、仮想現実(VR)テクノロジーを用いた学習システムである「VR-learning」です。VRを利用することで作業現場さながらの臨場感があり、作業者は直接教わるのに近い状態でどこでも熟練技術者の知識とノウハウを自主学習できるようになっています。また、従来は、VRを利用して教材を作成するには一定の技術が必要で、時間も手間もかかっていましたが、VR-learningならば、背景を360度カメラで撮影し、手本となる操作を熟練者が行うだけで、簡単に教材が完成します。本製品は、工場の生産現場でのスキル教育のほか、設備の保守・点検、交通機関での安全教育、機器の取扱方法説明などで利用され、既に40社を超える導入実績があります。

もう1つの製品は、これまで製造現場の情報として利用されていなかった人の動きをデジタル化し、作業状態の評価・分析を行う「Human-tracking」です。ネットワークに繋がれたセンサーや三次元カメラのデータを元に、AIを用いた画像認識技術を利用して作業者の識別と位置把握、姿勢や作業状態の分析を行います。分析結果から、時間がかかっている作業やバラツキのある作業、所定の手順から外れた作業などを見つけ出し、改善ポイントを検討した上で、業務の効率化や生産性向上といった改善活動に活かします。また、作業姿勢の分析によって作業者の健康への配慮も可能になり、総合的に現場のカイゼンにつながります。現在、十数社のお客様にご利用いただいています。



VRの技術が実務の場で使われ始めてからまだ短い時期ではありますが、お客様からのお問い合わせが増えています。当社では、そのような市場ニーズに対応し、社会に貢献したいと思います。

## セグメント別事業概況

### ソリューション事業

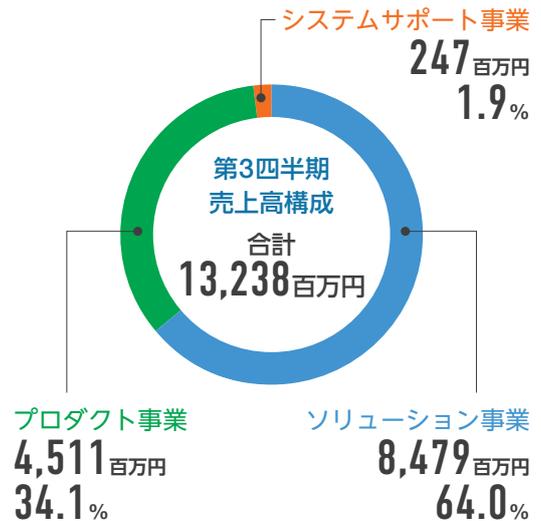
他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を主に行う事業です。顧客の課題解決に貢献する複合型ソリューションの提供を推進し、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。受注高および売上高につきましては、前第3四半期(累計)の大型案件の反動減などにより減少いたしました。セグメント利益につきましては、不採算案件が発生したことにより減少いたしました。当セグメントの受注高は8,057百万円(前年同期比17.1%減)、売上高は8,479百万円(前年同期比8.9%減)、セグメント利益は1,048百万円(前年同期比31.9%減)となりました。

### プロダクト事業

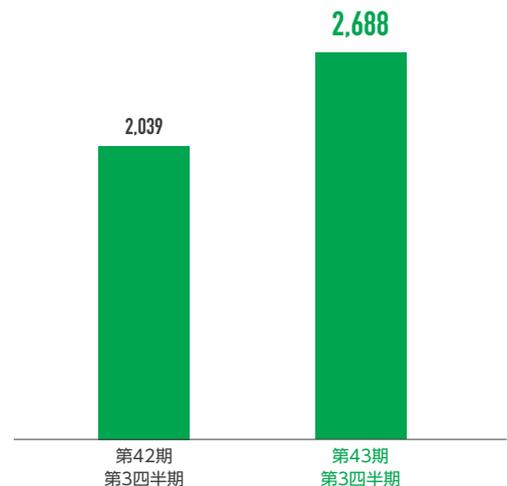
自社開発ERPパッケージ「mcfame」シリーズ製品をビジネスパートナーを通じて販売するとともに、同製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を行う事業です。引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図りライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力の強化に取り組みました。当セグメントの受注高は4,562百万円(前年同期比24.7%増)、売上高は4,511百万円(前年同期比18.9%増)、セグメント利益は大幅に増加し1,603百万円(前年同期比65.4%増)となりました。長期的にビジネスパートナーの拡大と関係強化に取り組んできたもとで、堅調なソフトウェア投資動向を背景にライセンス販売は大幅に伸長し、当第3四半期のmcfameライセンス売上高は2,688百万円(前年同期比31.9%増)となり、過去最高を更新いたしました。

### システムサポート事業

顧客に導入したシステムの運用・保守を主に、これらを通じた提案・追加開発等を行う事業であり、子会社のビジネスシステムサービス株式会社が展開しています。引き続き、顧客システムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は246百万円(前年同期比5.7%増)、売上高は247百万円(前年同期比18.4%減)、セグメント利益は281百万円(前年同期比27.2%増)となりました。



mcfameライセンス売上高 (単位: 百万円)



## 財務のポイント

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加、現金及び預金の減少、投資有価証券の時価評価による投資その他の資産の減少等により、前期末と比較して45百万円減少し、10,435百万円となりました。

負債は、賞与引当金の減少、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少等により、前期末と比較して901百万円減少し、3,266百万円となりました。

純資産は7,168百万円となり、自己資本比率は68.7%となりました。

(単位: 百万円)

	2021年3月末	2021年12月末
流動資産	7,775	7,797
固定資産	2,705	2,638
資産合計	10,481	10,435
流動負債	3,997	3,266
固定負債	170	—
負債合計	4,168	3,266
純資産	6,312	7,168
負債純資産合計	10,481	10,435

## 会社概要 (2021年12月31日現在)

社名 ビジネスエンジニアリング株式会社  
事業開始 1999年4月(設立 1980年12月)  
資本金 697,600,000円  
従業員数 連結667名 単体508名(2021年9月30日現在)  
業務内容 企業経営および情報通信システムのコンサルティング  
コンピュータネットワークの企画および開発  
情報通信システムの企画、開発、販売およびリース  
本社 東京都千代田区大手町1丁目8番1号  
KDDI大手町ビル  
関西支店 大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号  
新大阪プライムタワー4階  
中部営業所 愛知県名古屋市中区錦3丁目4番6号  
桜通大津第一生命ビル12階  
グループ会社 ビジネスシステムサービス株式会社  
Business Engineering America, Inc.  
畢恩古商務情報系统工程(上海)有限公司  
Toyo Business Engineering (Thailand) Co., Ltd.  
PT. Toyo Business Engineering Indonesia  
Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

## 役員 (2021年12月31日現在)

取締役 会長	大澤 正典
代表取締役 取締役社長	羽田 雅一
代表取締役 取締役副社長	片山 博
常務取締役	別納 成明
取締役	中野 敦士
取締役	佐藤 雄祐
社外取締役	清水 弘
社外取締役	樋口 英雄
社外取締役 監査等委員	丸山 龍二
社外取締役 監査等委員	志水 直樹
取締役 常勤監査等委員	大塚 博文

## 株主メモ

### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

### 定時株主総会

毎年6月

### 基準日

定時株主総会・期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

### 同事務取扱場所[郵便物送付先・電話照会先]

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店

および全国各支店で行っております。

### 単元株式数

100株

### 公告の方法

電子公告

<https://www.b-en-g.co.jp/>

## ホームページのご案内

<https://www.b-en-g.co.jp/>

ビジネスエンジニアリング

ホームページでは、個人投資家の皆様に当社をよりご理解いただくための情報をご提供しております。「GLASIAOUS」のサービスサイトも是非ご覧ください。



スマートフォンからも  
ご覧ください。



トップページ



「GLASIAOUS」サービスサイト



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。

## ビジネスエンジニアリング株式会社

本社：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI 大手町ビル  
TEL.03-3510-1600 / FAX.03-3510-1624